

～バレエ・アム・ライン『白鳥の湖』公演によせて～
薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 75

『白鳥の湖』

～切手・コースター・マッチ箱～

展示期間 /

2019年8月21日(水)～10月6日(日)

(※ 休館日はwebでご確認ください)

企画・構成 /

関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2019年9月28日、ドイツより初来日する「バレエ・アム・ライン」『白鳥の湖』公演によせた展示をお届けします。『白鳥の湖』は、言わずと知れたクラシックバレエの代表作です。1877年の初演以来、現在に至るまで、様々な新演出が試みられてきました。本展では、そんな『白鳥の湖』の普遍的な魅力に迫るべく、ちょっと珍しい品々をご紹介します。切手・コースター・マッチ箱.....生活用品ともいえる小物たちです。

当コレクションを集められた薄井憲二氏(1924～2017)は、世界有数の舞踊資料収集家でした。アンティークプリントやプログラムなどの歴史的な資料はもちろんのこと、切手やマッチ箱などのちょっとした小物類も大切にされていました。どんなに素晴らしい舞台でも、舞踊は一瞬にして消えてしまいます。その残照をとどめているのが、こうした資料たちなのです。薄井氏のバレエへの愛情が特に感じられる品々です。

切手という小さな紙片に細密に描かれたバレエの世界には、惹き込まれるような魅力があります。また、マッチ箱は、今では見かけることが少なくなりましたが、以前は生活必需品でもありました。今回展示しているものは、当時お土産用に作られたようです。消耗品、実用品でもあるマッチ箱が、こうした形で残っているのは大変珍しいことです。

名作バレエやスターの肖像に身近に触れることを可能にした小物たち。これらは、バレエが生活においても価値を置かれていることの証ともいえるでしょう。手から手へ渡り、海や空を越えて.....いったいどんな人々の手を経て、ここに来たのでしょうか。想像力の翼を広げると、薄井氏の、そして、バレエを愛する人々のぬくもりを感じられるような気さえします。

様々な『白鳥の湖』

1877年ボリショイ・バレエによる初演(レイジンゲル版)、1895年ペテルブルグ帝室マリンスキー劇場バレエによる蘇演(プティパ/イワノフ版)、1901年ボリショイ・バレエによる改訂版(ゴールスキー版)と、度々変更が加えられました。

ロシア以外でも、現在に至るまで数えきれないほど多くの新演出が創られています。ニューヨーク・シティ・バレエ(1951年バランシン版)、シュトゥットガルト・バレエ(1963年クランコ版)、ロイヤル・バレエ(1963年アシュトン版)、ウィーン国立歌劇場バレエ(1964年ヌレエフ版)、アメリカン・バレエ・シアター(1988年バリシニコフ版)、アドベンチャーズ・イン・モーション・ピクチャーズ(現ニュー・アドベンチャーズ/1995年ボーン版)などなど。

そして、今回来日するマーティン・シュレップァー版『白鳥の湖』は、2018年6月にドイツで初演され、これまでの『白鳥の湖』を刷新する版として注目を集めています。

主な出展リスト

- ◆ ST-BL-05 切手/チャイコフスキー没後75周年記念/ロシア/1956年
- ◆ ST-BL-102 切手/キューバ国立バレエ/キューバ/1967年
- ◆ ST-BL-52 切手/キューバ国立バレエ団40周年記念/ハヴァナ大劇場150周年記念/キューバ/1988年
- ◆ ST-BL-73-5 切手/ナターリヤ・ベスメルトノワ&ミハイル・ラヴロフスキー/タンザニア/1990年代
- ◆ ST-BL-126-01 切手/インターナショナル・ダンス/国連/2017年
- ◆ SA-01-01 コースター『白鳥の湖』『ジゼル』『ドン・キホーテ』『レ・シルフィード』『幻想交響曲』/英国/1950年
- ◆ MB-01-11 マッチ箱/ガリーナ・ウラノワ&コンスタンティン・セルゲイエフ/ボリショイ・バレエ/ロシア/1958年
- ◆ MB-03 マッチ箱/ベラルーシ国立ボリショイ・アカデミー劇場/ベラルーシ/年不詳



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用